

項目	内容																		
医薬品区分	一般用医薬品																		
薬効分類	解熱鎮痛薬																		
承認販売名																			
製品名	ウラック																		
製品名(読み)	ウラック																		
製品の特徴																			
使用上の注意	■してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり, 副作用・事故が起こりやすくなる) 1. 次の人は服用しないこと (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人 (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人 (3) 15才未満の小児 (4) 出産予定日12週以内の妊婦 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと 他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬 3. 服用前後は飲酒しないこと 4. <u>長期連用しないこと</u> ■相談すること 1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人 (3) 授乳中の人 (4) 高齢者 (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人 (6) 次の症状のある人: むくみ (7) 次の診断を受けた人 高血圧、心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病 (8) 次の病気にかかったことのある人 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、 直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は 登録販売者に相談すること <table><tr><th>関係部位</th><th>症 状</th></tr><tr><td>皮 膚</td><td>発疹・発赤、かゆみ、青あざができる</td></tr><tr><td>消化器</td><td>吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便</td></tr><tr><td>精神神経系</td><td>めまい</td></tr><tr><td>循環器</td><td>動悸</td></tr><tr><td>呼吸器</td><td>息切れ</td></tr><tr><td>その他</td><td>目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中痛み、過度の体温低下、からだがだるい</td></tr></table> まれに下記の重篤な症状が起こることがある その場合は直ちに医師の診療を受けること <table><tr><th>症状の名称</th><th>症 状</th></tr><tr><td>ショック (アナフィラキシー)</td><td>服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる</td></tr></table>	関係部位	症 状	皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる	消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便	精神神経系	めまい	循環器	動悸	呼吸器	息切れ	その他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中痛み、過度の体温低下、からだがだるい	症状の名称	症 状	ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる
関係部位	症 状																		
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる																		
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便																		
精神神経系	めまい																		
循環器	動悸																		
呼吸器	息切れ																		
その他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中痛み、過度の体温低下、からだがだるい																		
症状の名称	症 状																		
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる																		

* *	皮ふ粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮ふの広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する															
	肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄だん(皮ふや白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる															
	腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる															
	無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている)															
	心筋梗塞	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷や汗が出る															
	脳血管障害	意識の低下・消失、片側の手足が動かしにくくなる、頭痛、嘔吐、めまい、しゃべりにくくなる、言葉が出にくくなる等が急にあらわれる															
	偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる															
	ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる															
	再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮ふや粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくとする、血尿等があらわれる															
	無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる															
	3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること:便秘 4. 5～6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること																
効能・効果	1) 頭痛・歯痛・拔牙後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛 2) 悪寒・発熱時の解熱																
効能関連注意																	
用法・用量	次の量を1日3回を限度とし、なるべく空腹時をさけて水又はお湯で服用し、服用間隔は4時間以上あけてください <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 齢</th><th>1回量</th><th>服用回数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大人(15才以上)</td><td>3錠</td><td>1日3回まで</td></tr> <tr> <td>15才未満</td><td colspan="2">× 服用しないこと</td></tr> </tbody> </table>		年 齢	1回量	服用回数	大人(15才以上)	3錠	1日3回まで	15才未満	× 服用しないこと							
年 齢	1回量	服用回数															
大人(15才以上)	3錠	1日3回まで															
15才未満	× 服用しないこと																
用法関連注意	<用法・用量に関連する注意> 定められた用法・用量を厳守すること																
成分分量	1日量(9錠)中 <table border="1"> <thead> <tr> <th>成 分</th><th>分 量</th><th>はたらき</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イブプロフェン</td><td>450mg</td><td>解熱鎮痛成分</td></tr> <tr> <td>シャクヤクエキス</td><td>500mg (原生薬換算量2.5g)</td><td>筋肉の緊張緩和成分</td></tr> <tr> <td>カンゾウエキス</td><td>350mg (原生薬換算量2.5g)</td><td>抗炎症成分</td></tr> <tr> <td>乾燥水酸化アルミニウムゲル</td><td>250mg</td><td>胃粘膜保護成分</td></tr> </tbody> </table>		成 分	分 量	はたらき	イブプロフェン	450mg	解熱鎮痛成分	シャクヤクエキス	500mg (原生薬換算量2.5g)	筋肉の緊張緩和成分	カンゾウエキス	350mg (原生薬換算量2.5g)	抗炎症成分	乾燥水酸化アルミニウムゲル	250mg	胃粘膜保護成分
成 分	分 量	はたらき															
イブプロフェン	450mg	解熱鎮痛成分															
シャクヤクエキス	500mg (原生薬換算量2.5g)	筋肉の緊張緩和成分															
カンゾウエキス	350mg (原生薬換算量2.5g)	抗炎症成分															
乾燥水酸化アルミニウムゲル	250mg	胃粘膜保護成分															
添加物	添加物として、無水ケイ酸、乳糖、トウモロコシデンプン、クロスCMC-Na、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール、三二酸化鉄、カルナウバロウを含有する																

保管及び取扱い上の注意	(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること (2)小児の手の届かない所に保管すること (3)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる) (4)本剤をぬれた手で扱わないこと
消費者相談窓口	会社名:小林製薬株式会社 住所:〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10 製品のお問い合わせ先:お客様相談室 0120-5884-01 受付時間: 9:00～17:00(土・日・祝日を除く) ホームページアドレス http://www.kobayashi.co.jp
製造販売会社	会社名:小林製薬株式会社 住所:〒567-0057 大阪府茨木市豊川1-30-3
販売会社	
剤形	錠剤
リスク区分等	第②類医薬品